

平成 3 1 年度

# 主要・新規事業等の概要



高 浜 市

# 目 次

## 一 般 会 計

### 2 款 総務費

- №. 1 広報広聴事業（コンテンツマネジメントシステム等使用料）  
    《債務負担行為》【新規】・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- №. 2 防災活動事業（市町村防災支援システム導入業務委託等）【新規】・ 4

### 3 款 民生費

- №. 3 高齢者等生活支援事業（個人賠償責任保険料）【新規】・・・・・・・・ 5
- №. 4 介護保険システム電算管理事業（人工知能システム活用ケア  
    プラン作成支援業務委託等）【新規】・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
- №. 5 保育園管理運営事業（施設型給付費）【継続】・・・・・・・・・・・・ 9

### 8 款 土木費

- №. 6 公園整備管理事業（公園等整備工事）【新規】・・・・・・・・・・・・ 11

### 10 款 教育費

- №. 7 教育指導事業（プログラミング教育支援員謝礼等）【新規】・・・・ 12
- №. 8 児童生徒健全育成事業（学校司書賃金等）【新規】・・・・・・・・ 13
- №. 9 小学校維持管理事業（高取小学校大規模改造事業実施設計等  
    業務委託）《債務負担行為》【継続】・・・・・・・・・・・・ 15
- №. 10 小学校維持管理事業（長寿命化計画策定業務委託等）  
    中学校維持管理事業（長寿命化計画策定基礎調査業務委託）  
    《債務負担行為》【継続】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
- №. 11 小学校維持管理事業（港小学校照明器具LED化工事）  
    中学校維持管理事業（高浜中学校・南中学校照明器具LED化工事）  
    【継続】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
- №. 12 中学校維持管理事業（高浜中学校音楽室増築工事等）【継続】・・・・ 21
- №. 13 生涯学習施設管理運営事業（地域交流施設運営業務委託）【新規】・ 23

## 第6次高浜市総合計画における体系別 主要・新規事業一覧

### I みんなで考え みんなで汗かき みんなのまちを創ろう

- No. 1 広報広聴事業（コンテンツマネジメントシステム等使用料）  
《債務負担行為》 . . . . . 3

### II 学び合い 力を合わせて 豊かな未来を育もう

- No. 5 保育園管理運営事業（施設型給付費） . . . . . 9  
No. 7 教育指導事業（プログラミング教育支援員謝礼等） . . . . . 12  
No. 8 児童生徒健全育成事業（学校司書賃金等） . . . . . 13  
No. 9 小学校維持管理事業（高取小学校大規模改造事業実施  
設計等業務委託）《債務負担行為》 . . . . . 15  
No. 10 小学校維持管理事業（長寿命化計画策定業務委託等）  
中学校維持管理事業（長寿命化計画策定基礎調査業務委託）  
《債務負担行為》 . . . . . 17  
No. 11 小学校維持管理事業（港小学校照明器具LED化工事）  
中学校維持管理事業（高浜中学校・南中学校照明器具  
LED化工事） . . . . . 19  
No. 12 中学校維持管理事業（高浜中学校音楽室増築工事等） . . . . . 21  
No. 13 生涯学習施設管理運営事業（地域交流施設運営業務委託） . . . . . 23

### III 明日を生み出すエネルギー やる気を活かせるまちをつくろう

- No. 2 防災活動事業（市町村防災支援システム導入業務委託等） . . . . . 4  
No. 6 公園整備管理事業（公園等整備工事） . . . . . 11

### IV いつも笑顔で健やかに つながり100倍ひろげよう

- No. 3 高齢者等生活支援事業（個人賠償責任保険料） . . . . . 5  
No. 4 介護保険システム電算管理事業（人工知能システム活用ケー  
プラン作成支援業務委託等） . . . . . 7

主要・新規事業等

事業名等	広報広聴事業 (コンテンツマネジメントシステム等使用料) <債務負担行為> 【新規】												
担当グループ	企画部総合政策グループ												
総合計画区分	基本目標	I みんなで考え みんなで汗かき みんなのまちを創ろう						個別目標	(1) まちへの想いを育み、いつまでも住み続けたいと思えるまちをつくります				
予算区分	会計	一般会計		款	02総務費		項	01総務管理費		目	08広報広聴活動費		
	事業名 01広報広聴事業												
アクションプラン	■該当する □該当しない												
事業概要	事業の必要性・実施の背景	ICTの急速な進展によるスマートフォンの普及など、情報機器やそれを扱う人々の環境は目まぐるしく変化している。高度化・多様化する利用者のニーズやウェブアクセシビリティへの対応、各種災害時を想定しての自治体ホームページにおける緊急情報発信の重要性も高まっていることから、安定・継続した情報発信を実現できる環境の整備が必要である。											
	目的(何のために)	ホームページ及びシステム環境のリニューアル(コンテンツマネジメントシステムの導入)を行い、市内・市外を問わずより多くの人に閲覧・活用が見込める機能性・デザイン性のあるホームページ、また職員が効率的かつ容易に更新できる管理システムを構築し、情報発信の「スピード感」「総情報量アップ」を目指す。											
	対象(誰・何を対象に)	市民、市外の方で高浜市に関心を寄せている方											
	事業内容(手段・手法など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>公募型プロポーザル方式によりホームページリニューアル業者を選定する。</li> <li>各所属の担当者に対して研修会を実施する。</li> <li>リニューアルしたホームページを公開する。</li> <li>あらゆる媒体を通して、ホームページがリニューアルされることを広報する。</li> </ul>											
目指す成果(期待される効果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ネット社会に対応した情報発信の強化を行える(若い世代への対応)。</li> <li>シティプロモーションの観点を広報に入れ込むことができる(市外の方への対応)。</li> <li>市民目線での情報発信を行うことで、細かなまちの情報を届けることができ、愛着や誇りの向上が期待できる(居住している方への対応)。</li> <li>市政運営の透明性を高め、説明責任を果たせる。</li> </ul>												
目標設定(なるべく定量的な目標値を記入)	目標(何をどのようにする)										達成時期(いつまでに)		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>市の情報発信に満足している人の割合を65%にする</li> <li>HPの年間平均アクセス数を20%増加させる(平成29年度: 10,856件)</li> </ul>										平成33年4月		
平成31年度	事業費(経費)			財源内訳(単位:千円)									
	4,066千円			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			4,066		
事業費積算内容	<<現年度予算>> コンテンツマネジメントシステム等使用料 4,066千円 <<債務負担行為>> 期間:平成32年度~平成35年度 限度額:コンテンツマネジメントシステム等使用料 16,264千円 <<合計>> 20,330千円												
平成31年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期			
事業実施スケジュール	★実施要項・仕様公開						◎リニューアル			◆運用及び検証(必要に応じ)			
	★プロポーザル(業者選定)						◆職員研修			◆確認作業			
	移行ページの精査(各所属)			ページ移行作業									
予算書及び予算説明書該当ページ	103・270ページ												

主要・新規事業等

事業名等	防災活動事業（市町村防災支援システム導入業務委託等）【新規】												
担当グループ	都市政策部都市防災グループ												
総合計画区分	基本目標	Ⅲ 明日を生み出すエネルギーやる気を活かせるまちをつくろう						個別目標	(9) 安全・安心が実感できるまちづくりを進めます				
予算区分	会計	一般会計		款	02総務費		項	01総務管理費		目	18防災対策費		
	事業名 01防災活動事業												
アクションプラン	<input type="checkbox"/> 該当する <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない												
事業概要	事業の必要性・実施の背景	災害対応での行政による避難判断等の遅れや誤りは、市民の避難行動等に多大な影響を及ぼす。災害による逃げ遅れゼロを目指し、適切な避難判断及び災害情報の発信等に努めていくことが求められている。平成30年6月より、市町村の「避難勧告等の迅速な意思決定の支援」及び「災害対応業務の効率化」を目的に、愛知県が開発した本システムが運用開始され、各市町村において導入を進めている。											
	目的（何のために）	本システムを活用し、愛知県や気象庁等と連携した避難判断の意思決定及び災害情報の発信などの災害対応に努めることで、市民等の逃げ遅れゼロを目指すため。 また、被害状況や避難者数等、災害情報を一元管理することで、災害対応業務の効率化を図るため。											
	対象（誰・何を対象に）	市民等											
	事業内容（手段、手法など）	《実施内容》 市町村防災支援システムを10月までに整備し、災害対応業務に活用する。 《手段・手法》 本システムの主な機能である、避難勧告等発令機能、避難者管理機能、救護物資管理機能、時系列表示機能、地図表示機能、広報支援機能を活用し、市民等の逃げ遅れゼロを目指すとともに、災害対応業務の効率化を図る。											
目指す成果（期待される効果）	本システムを活用し、市民等に対し適切なタイミングで避難情報を始めとする災害情報等を発信することで、市民等の速やかな避難行動に繋がり、被害を最小限に抑えることが期待できる。 また、各種システム機能の活用により、災害情報が一元化され、災害対応業務の効率化が期待できる。												
目標設定（なるべく定量的な目標値を記入）	目標（何をどのようにする）										達成時期（いつまでに）		
	市町村防災支援システムを導入し、適切なタイミングで災害情報等を発信する体制を整える。										平成31年10月		
平成31年度	事業費（経費）			財源内訳（単位：千円）									
	2,381 千円			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			1,811		
事業費積算内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>市町村防災支援システム導入業務委託料 1,713千円（システムの初期設定費用）</li> <li>市町村防災支援システム使用料 668千円</li> </ul>												
平成31年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期			
事業実施スケジュール	システム導入準備（補助金申請、入札、初期設定など）												
							システム運用開始						
予算書及び予算説明書該当ページ			115ページ										

主要・新規事業等

事業名等	高齢者等生活支援事業（個人賠償責任保険料）【新規】												
担当グループ	福祉部福祉まると相談グループ												
総合計画区分	基本目標	Ⅳ いつも笑顔で健やかに つながり100倍ひろげよう						個別目標	(10) 一人ひとりを認め合い、その人らしく 暮らせるまちづくりを進めます				
予算区分	会計	一般会計		款	03民生費		項	01社会福祉費		目	05高齢者在宅・施設介護費		
	事業名 04高齢者等生活支援事業												
アクションプラン	<input type="checkbox"/> 該当する <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない												
事業概要	事業の必要性・実施の背景	認知症の人の徘徊は、事故による本人の被害にとどまらず、踏切事故や他者へ損害を与えることもある。その損害賠償は家族に及び可能性があり、社会全体で支える仕組みが必要とされている。											
	目的（何のために）	認知症の人やその家族が、地域の中で安心して暮らせるまちを目指す。											
	対象（誰・何を対象に）	高浜市認知症高齢者等見守りSOSネットワークに事前登録された在宅生活者											
	事業内容（手段、手法など）	《実施内容》 SOSネットワークの事前登録者を対象に、登録者本人を被保険者とし、高浜市を保険契約者とする個人賠償責任保険に加入する。 《手段・手法》 ・SOSネットワーク事前登録者に保険制度について説明を行う。 ・ケアマネジャーや介護事業所など関係機関に個人賠償責任保険について周知を行う。 ・認知症に関する相談時やSOSネットワーク事前登録の際に当該事業について説明を行う。											
	目指す成果（期待される効果）	認知症になっても、本人の意思が尊重され自分らしく暮らすことができるまちの実現											
目標設定（なるべく定量的な目標値を記入）	目標（何をどのようにする）										達成時期（いつまでに）		
	SOSネットワークの事前登録者数を倍増させる。										平成32年3月		
平成31年度	事業費（経費）			財源内訳（単位：千円）									
	138 千円			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			138		
事業費積算内容	個人賠償責任保険料 138千円 【算出根拠】 事前登録者数（新規登録者含む）60名 × 2,300円（1名あたりの年間保険料）												
平成31年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期			
事業実施スケジュール	●保険加入（6月1日～）												
	●SOSネットワーク事前登録済の方への案内及び保険加入の同意確認												
	●関係機関への周知												
	●新規事前登録者の受付（随時）												
予算書及び予算説明書該当ページ	141ページ												



## 主要・新規事業等

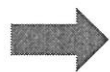
事業名等		介護保険システム電算管理事業 (人工知能システム活用ケアプラン作成支援業務委託等) 【新規】											
担当グループ		福祉部介護保険・障がいグループ											
総合計画区分		基本目標	Ⅳ いつも笑顔で健やかに つながり100倍ひろげよう					個別目標	(11) 一人ひとりの元気と健康づくり を応援します				
予算区分		会計	一般会計		款	03民生費		項	01社会福祉費		目	07介護保険推進費	
アクションプラン		□該当する      ■該当しない											
事業概要	事業の必要性・実施の背景	ケアプランを作成する個人の技術レベルや意識を高めることは、質の高い介護サービスの提供につながる。しかし、人材不足等を背景に、技術レベル向上のための研修等への参加や先輩から後輩への技術指導が困難になりつつある。											
	目的(何のために)	過去の膨大なケアプランを学習した人工知能システム(AI)が要介護者の身体機能や心身の状態から最適なケアプランを提案することにより、経験の浅いケアマネジャーであっても質の高いケアプランを作成できるようにするとともに、ケアプラン作成の効率化を図る。											
	対象(誰・何を対象に)	市内ケアマネジャー及び要介護者											
	事業内容(手段、手法など)	AIを活用したケアプラン作成システムを高浜市が借上げ、参加を希望する市内事業者のケアマネジャー5名を募集する。 平成31年7月からシステムを使用してもらい、平成32年3月までに効果について検証する。 内容については以下のとおり。 ①参加者説明会 ②事業参加ケアマネジャー5名に対する操作説明会 ③ケアマネジャーによるAIを活用したケアプラン作成 ④事業検証											
目指す成果(期待される効果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>要介護者にとって、ケアマネジャーの経験に基づいた従来のケアプランとAIによるケアプランを比較することにより、ケアプラン作成におけるAIの有効性を検証する。</li> <li>AI活用による質の高いケアプランが提供できれば、重症化の予防が図られるとともに要介護者が効率よく適正なサービスを受けられるようになる。</li> </ul>												
目標設定(なるべく定量的な目標値を記入)	目標(何をどのようにする)									達成時期(いつまでに)			
	検証結果をもとに事業者に対するシステム利用補助の創設について検討する。									平成32年3月			
平成31年度	事業費(経費)				財源内訳(単位:千円)								
	1,159千円				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源				
								1,159					
事業費積算内容	人工知能システム活用ケアプラン作成支援業務委託料 743千円 機械器具費(タブレット購入費) 302千円 通信運搬費(タブレット回線使用料) 84千円 消耗品費 30千円												
平成31年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期			
事業実施スケジュール	→ 契約事務			→ 参加者説明会			→ ケアマネ決定、操作説明会			→ ケアプラン支援サービス利用			
										→ 事業検証			
予算書及び予算説明書該当ページ	143・145ページ												



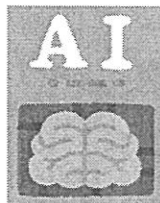
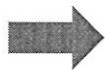
資料等(位置図等)



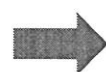
ケアマネジャーが居宅訪問



心身の状況等をシステム入力



AIがケアプランを提案



本人・家族の意向等を元にケアプランを決定

## 主要・新規事業等

事業名等		保育園管理運営事業（施設型給付費）【継続】											
担当グループ		こども未来部こども育成グループ											
総合計画区分		基本 目標	Ⅱ 学び合い 力を合わせて 豊かな未来を育もう					個別 目標	(5) 子育て・子育てを支える 環境を整えます				
予算区分		会計	一般会計		款	03民生費		項	02児童福祉費		目	02保育サービス費	
アクションプラン		<input checked="" type="checkbox"/> 該当する <input type="checkbox"/> 該当しない											
事業概要	事業の必要性・ 実施の背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3歳未満児で待機児童が発生している。</li> <li>・保育園は入園希望者が定員を上回っているが、公立幼稚園では定員割れが続いている。</li> </ul>											
	目的 (何のために)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安心してこどもを産み、育てられるよう、保育ニーズに対応した子育て環境を整える。</li> </ul>											
	対象 (誰・何を対象に)	就学前の児童及びその家族											
	事業内容 (手段、手法など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設型保育給付施設である認定こども園の翼幼保育園及び平成31年4月開所のたかとりこども園（幼保連携型認定こども園）の運営費を施設運営主体の法人に毎月給付する。</li> <li>・公定価格－利用者負担額＝施設型給付費（給付額）</li> </ul>											
目指す成果 (期待される効果)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・安心してこどもを産み、育てられるような、保育ニーズに対応した子育て環境が進む。</li> <li>・民間法人の運営により、保育サービスの充実が図られる。</li> </ul>											
目標設定 (なるべく定量的な 目標値を記入)		目標（何をどのようにする）									達成時期（いつまでに）		
		平成31年4月開所のたかとりこども園（幼保連携型認定こども園）で定員194名の児童を受け入れる。									平成31年4月		
平成31年度	事業費（経費）		財源内訳（単位：千円）										
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源						
	225,989 千円		66,042	39,134								120,813	
事業費 積算内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設型保育給付費 225,989千円 （うち たかとりこども園分 117,391千円） （うち 翼幼保育園分 108,598千円）</li> </ul>											
平成31年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期			
事業実施 スケジュール		<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: space-between;"> <span>←</span> <span>事業運営</span> <span>→</span> </div>											
予算書及び予算説明書該当ページ		155ページ											

## これまでの主な取組と成果

事業年度	平成27年度 ～ 平成30年度	総事業費	426,196千円			
これまでの 主な取組 と成果	市内の認定こども園1園（翼幼保園）及び市外の認定こども園（広域入所）の利用児童を受け入れた。					
平成30年度 (予算)	取組内容	市内の認定こども園1園（翼幼保園）及び市外の認定こども園（広域入所）の利用児童を受け入れる。				
	事業費（経費）	財源内訳（単位：千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	113,483 千円	28,969	17,863			66,651
主な 経費	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設型保育給付費 113,483千円 （うち 翼幼保園分 108,733千円）</li> </ul>					
平成29年度 (決算)	取組内容	市内の認定こども園1園（翼幼保園）及び市外の認定こども園（広域入所）の利用児童を受け入れた。				
	事業費（経費）	財源内訳（単位：千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	102,395 千円	33,865	19,448			49,082
主な 経費	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設型保育給付費 102,395千円 （うち 翼幼保園分 101,389千円）</li> </ul>					

主要・新規事業等

事業名等	公園整備管理事業（公園等整備工事）【新規】													
担当グループ	都市政策部都市整備グループ													
総合計画区分	基本目標	Ⅲ 明日を生み出すエネルギー やる気を活かせるまちをつくろう						個別目標	(8) 自然と都市機能が調和した 都市空間をつくります					
予算区分	会計	一般会計		款	08土木費		項	05都市計画費		目	04公園緑化費			
	事業名：01公園整備管理事業													
アクションプラン	<input checked="" type="checkbox"/> 該当する <input type="checkbox"/> 該当しない													
事業概要	事業の必要性・実施の背景	昭和40年代後半より区画整理事業等において短期間に整備された施設が多く、一斉に老朽化が進行している。その施設は修繕等により維持しているが、耐用年数を超過し、修繕費が年々増加するとともに、損傷等による事故の危険性も高まっている。また、公園における地域利用及び利用状況等が多様化するなか、公園施設のあり方を今後の維持管理費等を踏まえて検討し、長寿命化または再整備していく必要がある。												
	目的（何のために）	後世山公園は供用開始してから30年以上が経過し、老朽や摩耗等の原因により、平成30年の点検結果により、現在一部の遊具の利用を休止しているため、遊具を更新し、利用者へ安心して安全に利用できる環境を提供する。												
	対象（誰・何を対象に）	後世山公園の利用者												
	事業内容（手段、手法など）	地域住民に最も身近な公園として、より愛着を持って親しまれるものにしていくため、新たに整備する遊具については、利用者実態調査結果を踏まえ、地元町内会やまちづくり協議会と協議する等、地域の要望を取り入れて更新する。												
目指す成果（期待される効果）	後世山公園の遊具を更新し、安心して安全に利用できる公園となる。													
目標設定（なるべく定量的な目標値を記入）	目標（何をどのようにする）										達成時期（いつまでに）			
	後世山公園の遊具を更新する。										平成32年3月			
平成31年度	事業費（経費）			財源内訳（単位：千円）										
	7,321 千円			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			1,621			
事業費積算内容	後世山公園遊具改修工事 7,321千円													
平成31年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期				
事業実施スケジュール	← 県費補助申請 →			← 地元等調整 →			← 工事積算・工事契約 →			← 施設整備 →				
予算書及び予算説明書該当ページ	203ページ													

主要・新規事業等

事業名等	教育指導事業（プログラミング教育支援員謝礼等）【新規】												
担当グループ	教育委員会学校経営グループ												
総合計画区分	基本目標	Ⅱ 学び合い 力を合わせて豊かな未来を育もう						個別目標	(4) 学校・家庭・地域が連携を深め、12年間の学びや育ちをつなげます				
予算区分	会計	一般会計	款	10教育費	項	01教育総務費	目	03教育指導費					
	事業名	01教育指導事業											
アクションプラン	<input checked="" type="checkbox"/> 該当する <input type="checkbox"/> 該当しない												
事業概要	事業の必要性・実施の背景	新学習指導要領の改訂に伴い、平成32年度から小学校においてプログラミング教育が必修化される。高浜市では「高浜版プログラミング教育」を実施することで、「コンピュータに慣れ親しみ、プログラミング的思考を用いて、問題の解決に必要な解決策を見つけ、自ら解決できる子」の育成を目指している。											
	目的（何のために）	「高浜版プログラミング教育」のカリキュラム作成や教材開発を計画的に進め、小学校におけるプログラミング教育を円滑に実施できるよう準備するため。											
	対象（誰・何を対象に）	市内全小学校児童											
	事業内容（手段、手法など）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「高浜版プログラミング教育」のカリキュラムの作成や教材の開発</li> <li>・「高浜版プログラミング教育」の先行モデル授業の実施</li> <li>・教職員研修（愛知教育大学・たかはま夢未来塾による指導・助言）</li> <li>・プログラミング教育支援員の派遣</li> <li>・小学校各段階における学習到達目標の作成</li> </ul>											
目指す成果（期待される効果）	小学校の各段階における「高浜版プログラミング教育」のモデル授業を確立する。												
目標設定（なるべく定量的な目標値を記入）	目標（何をどのようにする）										達成時期（いつまでに）		
	「高浜版プログラミング教育」のカリキュラムを策定し、市内全小学校において先行モデル授業を実施する。										平成32年3月		
平成31年度	事業費（経費）			財源内訳（単位：千円）									
	2,636 千円			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源					
事業費積算内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プログラミング教育支援員謝礼 1,610千円</li> <li>・消耗品費（自律型ロボットプログラミングキット購入費） 1,026千円</li> </ul>												
平成31年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期			
事業実施スケジュール	自律型ロボットプログラミングキット購入			教職員研修			先行モデル授業（全小学校）						
	「高浜版プログラミング教育」カリキュラム作成作業部会（年3回）												
予算書及び予算説明書該当ページ			213ページ										

主要・新規事業等

事業名等	児童生徒健全育成事業（学校司書賃金等）【新規】												
担当グループ	教育委員会学校経営グループ												
総合計画区分	基本目標	Ⅱ 学び合い 力を合わせて豊かな未来を育もう						個別目標	(4) 学校・家庭・地域が連携を深め、12年間の学びや育ちをつなげます				
予算区分	会計	一般会計	款	10教育費	項	01教育総務費	目	03教育指導費					
	事業名 03児童生徒健全育成事業												
アクションプラン	<input type="checkbox"/> 該当する <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない												
事業概要	事業の必要性・実施の背景	子どもの実態や社会の変化、次期学習指導要領による新たな教育の流れを踏まえ、教育環境を再構築する必要がある。各学校には、司書教諭を置いているが、担任や他の分掌も兼ねており、学校図書館の管理、整備に十分な時間をかけることは難しい。学校図書館の環境・運営改善、子どもや教職員による利用促進に資するために、学校司書の配置が必要である。											
	目的（何のために）	子どもたちの「主体的・対話的で深い学び」を効果的に進める基盤としての役割を学校図書館が果たすため。また、学校図書館の整備が、教職員の授業力向上（探究的な学習の工夫、言語活動の充実、単元に関連した資料の準備等）につながるため。											
	対象（誰・何を対象に）	高浜市の子ども・教職員											
	事業内容（手段、手法など）	【実施内容】小学校に1名配置（中学校は年度初めと終わりに、整備のため勤務予定）し、平成32年3月までに、学校司書を活用した小学校図書館の整備充実を図る。 ①4月2週目までに、巡回方法を決定する。 ②「学校司書の仕事」について、各校へ周知する。 ※「学校司書の仕事」とは、図書館の環境整備・授業支援・市立図書館との連携。 ③8月までに、学校司書と図書館関係者（図書館担当者・図書ボランティア）との情報交換会・研修の場を設定する。 ④学校司書配置における各校の実践報告をまとめる。											
目指す成果（期待される効果）	学校司書を配置することで、「本を借りる場」だった図書館が「本で学ぶ場」として、学校図書館が整備され、学習に意欲的に取り組む子どもが増加する。												
目標設定（なるべく定量的な目標値を記入）	目標（何をどのようにする）										達成時期（いつまでに）		
	学校図書活用に対する理解の促進と体制づくりに着手する。										平成32年3月		
平成31年度	事業費（経費）			財源内訳（単位：千円）									
	1,508 千円			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			1,508		
事業費積算内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校司書賃金 1,295千円</li> <li>・社会保険料 197千円</li> <li>・雇用保険料 12千円</li> <li>・労災保険料 4千円</li> </ul>												
平成31年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期			
事業実施スケジュール	司書配置												
				★ 情報交換会・研修会			★ 情報交換会・研修会			→			
予算書及び予算説明書該当ページ			215ページ										



主要・新規事業等

事業名等	小学校維持管理事業 (高取小学校大規模改造事業実施設計等業務委託) <<債務負担行為>>【継続】													
担当グループ	教育委員会学校経営グループ													
総合計画区分	基本目標	Ⅱ 学び合い 力を合わせて豊かな未来を育もう						個別目標	(4) 学校・家庭・地域が連携を深め、12年間の学びや育ちをつなげます					
予算区分	会計	一般会計	款	10教育費	項	02小学校費	目	01学校管理費						
	事業名: 01小学校維持管理事業													
アクションプラン	<input type="checkbox"/> 該当する <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない													
事業概要	事業の必要性・実施の背景	高取小学校は、南校舎が築53年、北校舎が築43年と老朽化が進んでおり、今後も厳しい財政が予想される中では、効果的・効率的に長寿命化対策を行い、校舎を長く使っていくことが欠かせない。												
	目的(何のために)	高取小学校校舎を将来にわたって長く使い続けるため、大規模改造に向けた実施設計等を行うため。												
	対象(誰・何を対象に)	高取小学校校舎、及び屋内運動場												
	事業内容(手段、手法など)	高取小学校の大規模改造に向けた実施設計を行う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>外壁等の経年劣化を回復するもの</li> <li>水道、電気、ガス管等のライフラインの更新</li> <li>建物の機能や性能を向上させるもの</li> <li>学校現場との協議等</li> </ul>												
目指す成果(期待される効果)	物理的な不具合を直すとともに、建物の機能や性能を現在の学校が求められている水準まで引き上げる大規模改造につなげ、学校施設の長寿命化を図る。													
目標設定(なるべく定量的な目標値を記入)	目標(何をどのようにする)										達成時期(いつまでに)			
	高取小学校の大規模改造に向けた実施設計及び工事監理を完了する。										平成37年3月			
平成31年度	事業費(経費)			財源内訳(単位:千円)										
	17,191 千円			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			17,191			
事業費積算内容	<<現年度予算>> ・高取小学校大規模改造事業実施設計等業務委託料 17,191千円 <<債務負担行為>> 期間:平成32年度~平成36年度 限度額:高取小学校大規模改造事業実施設計等業務委託料 72,856千円 <<合計>> 90,047千円													
平成31年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期				
事業実施スケジュール	契約手続き			大規模改造事業実施設計										
予算書及び予算説明書該当ページ	219・274ページ													



## これまでの主な取組と成果

事業年度	平成29年度 ～ 平成30年度	総事業費	5,552千円			
これまでの 主な取組 と成果	高取小学校大規模改修基本計画の策定、及び長寿命化改修基本調査を実施し、今後の大規模改修に向けた準備を進めることができた。					
平成30年度 (予算)	取組内容	高取小学校の耐力度調査等の実施				
	事業費（経費）	財源内訳（単位：千円）				
	3,586 千円	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	3,586	:	:	:	:	3,586
主な 経費	長寿命化計画策定基礎調査業務委託（高取小） 3,586千円					
平成29年度 (決算)	取組内容	高取小学校大規模改修に係る基本計画の策定				
	事業費（経費）	財源内訳（単位：千円）				
	1,966 千円	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,966	:	:	:	:	1,966
主な 経費	高取小学校大規模改修基本計画策定業務委託 1,966千円					

主要・新規事業等

事業名等	小学校維持管理事業（長寿命化計画策定業務委託等） 中学校維持管理事業（長寿命化計画策定基礎調査業務委託）《債務負担行為》【継続】												
担当グループ	教育委員会学校経営グループ												
総合計画区分	基本目標	Ⅱ 学び合い 力を合わせて豊かな未来を育もう						個別目標	(4) 学校・家庭・地域が連携を深め、12年間の学びや育ちをつなげます				
予算区分	会計	一般会計	款	10教育費	項	02小学校費・03中学校費	目	01学校管理費					
	事業名	01小学校維持管理事業・02中学校維持管理事業											
アクションプラン	<input type="checkbox"/> 該当する <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない												
事業概要	事業の必要性・実施の背景	文部科学省から平成32年度までに学校施設の長寿命化計画を策定することが求められている。そこで、各学校で実施した長寿命化改修基本調査の結果に基づき、今後の改修や建替えに向けた方向性（時期・内容・費用等）を検討し、学校毎の長寿命化計画を策定する必要がある。											
	目的（何のために）	学校施設は未来を担う子どもたちが集い、生き生きと学び、生活をする場であるとともに、災害時には避難所としての役割も果たす重要な施設であり、学校施設の老朽化対策は先送りのできない重要な課題である。そこで、中長期的な維持管理・更新に係るトータルコストの縮減や予算の平準化を図るため、具体性を持った実行可能な計画を策定する。											
	対象（誰・何を対象に）	学校施設											
	事業内容（手段、手法など）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長寿命化計画（吉浜小、高取小、港小）を策定する。</li> <li>・長寿命化計画策定基礎調査（翼小、高浜中、南中）を実施する。</li> </ul>											
目指す成果（期待される効果）	学校施設の長寿命化計画と公共施設総合管理計画・長期財政計画との整合が図られ、学校施設の計画的な大規模改造・更新等が行われている。												
目標設定（なるべく定量的な目標値を記入）	目標（何をどのようにする）										達成時期（いつまでに）		
	全小中学校の長寿命化計画を策定する。										平成33年3月		
平成31年度	事業費（経費）		財源内訳（単位：千円）										
	43,186 千円		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源						43,186
事業費積算内容	《現年度予算》 ・長寿命化計画策定業務委託料（吉浜小、高取小、港小） 14,960千円 ・長寿命化計画策定基礎調査業務委託料（翼小、高浜中、南中） 28,226千円 計 43,186千円 《債務負担行為》 期間：平成32年度 限度額：長寿命化計画策定業務委託料（高浜小、翼小、高浜中、南中） 27,170千円												
平成31年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期			
事業実施スケジュール	入札 手続	現地調査・調査結果分析・報告書作成（翼小、高浜中、南中）											
	入札 手続	長寿命化計画策定（吉浜小、高取小、港小）											
予算書及び予算説明書該当ページ	219・223・276ページ												

## これまでの主な取組と成果

事業年度	平成29年度 ～ 平成30年度	総事業費	17,213千円			
これまでの主な取組と成果	吉浜小、高取小、港小を対象とした耐力度調査や基礎調査を行い、建物の現状を把握することができた。					
平成30年度 (予算)	取組内容	◆耐力度調査の実施 ◆長寿命化改修基礎調査の実施 ※吉浜小、高取小、港小を対象校として実施				
	事業費（経費）	財源内訳（単位：千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	15,247 千円					15,247
主な経費	○耐力度調査及び長寿命化基礎調査業務委託料（吉浜小、高取小、港小）15,247千円 ※高取小学校は耐力度調査のみ					
平成29年度 (決算)	取組内容	◆長寿命化改修基礎調査の実施 ※高取小を対象校として実施				
	事業費（経費）	財源内訳（単位：千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,966 千円					1,966
主な経費	○長寿命化基礎調査業務委託料（高取小） 1,966千円					

## 主要・新規事業等

事業名等		小学校維持管理事業（港小学校照明器具LED化工事） 中学校維持管理事業（高浜中学校・南中学校照明器具LED化工事）【継続】											
担当グループ		教育委員会学校経営グループ											
総合計画区分		基本目標：Ⅱ 学び合い 力を合わせて豊かな未来を育もう					個別目標：（４）学校・家庭・地域が連携を深め、12年間の学びや育ちをつなげます						
予算区分		会計：一般会計		款：10教育費		項：02小学校費・03中学校費		目：01学校管理費					
事業名		01小学校維持管理事業・02中学校維持管理事業											
アクションプラン		<input type="checkbox"/> 該当する <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない											
事業概要	事業の必要性・実施の背景	平成30年度より学校環境衛生基準が改正され、教室における照度基準が引上げされたことに伴い、現行の照明器具を取り換えることにより、教室等における適切な学習環境を確保する必要がある。 また、PCB廃棄物混入の可能性のある蛍光灯が使用されており、児童生徒への影響を回避し、安全を確保する必要があるとともに、取り外した蛍光灯安定器を確認し、含まれるPCB廃棄物を期限内（平成32年度まで）に処分する必要がある。											
	目的（何のために）	港小学校、高浜中学校、南中学校の3小中学校にある照明器具をLED化して、学習環境の向上を図り、学校環境衛生基準を満たしたものとする。また、取り外した蛍光灯の安定器内にPCB廃棄物が含まれているかどうかを確認し、PCB廃棄物を期限内（平成32年度まで）に処分する。											
	対象（誰・何を対象に）	港小学校、高浜中学校、南中学校											
	事業内容（手段、手法など）	港小学校・高浜中学校・南中学校の照明器具LED化工事を実施する。											
目指す成果（期待される効果）		<ul style="list-style-type: none"> <li>・教室の照度向上を図り、学校環境衛生基準に適合した学習環境を確保する。</li> <li>・施設の省エネルギー化を図る。</li> <li>・PCB廃棄物による児童生徒への影響を回避し安全を確保する。</li> <li>・期限内（平成32年度まで）にPCB廃棄物を確実にかつ適正に処分する。</li> </ul>											
目標設定（なるべく定量的な目標値を記入）		目標（何をどのようにする）									達成時期（いつまでに）		
		3小中学校の照明器具LED化を完了する。									平成32年3月		
平成31年度	事業費（経費）		財源内訳（単位：千円）										
	82,829 千円		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源						
						74,400						8,429	
事業費積算内容		小学校維持管理事業 17,527千円 ・港小学校照明器具LED化工事費 17,527千円 中学校維持管理事業 65,302千円 ・高浜中学校照明器具LED化工事費 37,950千円 ・南中学校照明器具LED化工事費 27,352千円											
平成31年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期			
事業実施スケジュール		契約手続き		照明器具LED化工事									
予算書及び予算説明書該当ページ		219・225ページ											

## これまでの主な取組と成果

事業年度	平成30年度	総事業費	60,157千円		
これまでの 主な取組 と成果	吉浜小学校、高取小学校の照明器具をLED化し、教室の照度向上や省エネルギー化を図るとともに、取り外した安定器へのPCB混入の有無を確認した。				
平成30年度 (予算)	取組内容	吉浜小学校と高取小学校の照明器具をLED化した。			
	事業費（経費）	財源内訳（単位：千円）			
	60,157 千円	国庫支出金	県支出金	地方債	その他 一般財源
	60,157 千円			53,000	7,157
主な 経費	吉浜小学校照明器具LED化工事費 39,354千円 高取小学校照明器具LED化工事費 20,803千円				

## 主要・新規事業等

事業名等		中学校維持管理事業（高浜中学校音楽室増築工事等）【継続】											
担当グループ		教育委員会学校経営グループ											
総合計画区分		基本 目標	Ⅱ 学び合い 力を合わせて 豊かな未来を育もう					個別 目標	(4) 学校・家庭・地域が連携を深め、 12年間の学びや育ちをつなげます				
予算区分		会計	一般会計		款	10教育費		項	03中学校費		目	01学校管理費	
アクションプラン		<input type="checkbox"/> 該当する <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない											
事業概要	事業の必要性・実施の背景	高浜中学校は生徒数が年々増加しており、平成32年度のクラス増に対応するため、平成31年度中に既存音楽室の普通教室化が必要である。また、既存音楽室の普通教室化に合わせて、別棟で音楽室増築工事を実施する。											
	目的 (何のために)	高浜中学校の生徒数増加に伴い、クラス増が見込まれるため、学習環境の整備を図る。											
	対象 (誰・何を対象に)	高浜中学校											
	事業内容 (手段、手法など)	【工事内容】 ① 音楽室増築工事 ・土木工事 ・建築工事 ・設備工事 ② 上記工事の工事監理業務委託 ③ 既存音楽室の普通教室化工事											
目指す成果 (期待される効果)	平成32年度のクラス増に対応する。												
目標設定 (なるべく定量的な 目標値を記入)	目標（何をどのようにする）										達成時期（いつまでに）		
	既存音楽室の普通教室化と音楽室増築工事を完了する。										平成32年3月		
平成31年度	事業費（経費）		財源内訳（単位：千円）										
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源						
		224,261 千円	24,815		153,100		46,346						
事業費 積算内容	① 高浜中学校音楽室増築工事費		185,614千円										
	② 高浜中学校音楽室増築工事監理業務委託料		6,994千円										
	③ 高浜中学校既存音楽室普通教室化工事費		31,653千円										
平成31年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期			
事業実施 スケジュール	契約手続き		音楽室増築工事										
	契約手続き		既存音楽室普通教室化工事										
予算書及び予算説明書該当ページ		223・225ページ											

これまでの主な取組と成果

事業年度	平成30年度	総事業費	5,759千円			
これまでの主な取組と成果	平成31年度に音楽室増築工事を行うための実施設計を行った。					
平成30年度 (予算)	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地質調査、敷地現況高低測量</li> <li>・実施設計</li> <li>・建築確認申請</li> </ul>				
	事業費(経費)	財源内訳(単位:千円)				
	5,759 千円	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
						5,759
主な経費	高浜中学校音楽室増築工事設計業務委託料 5,759千円					

主要・新規事業等

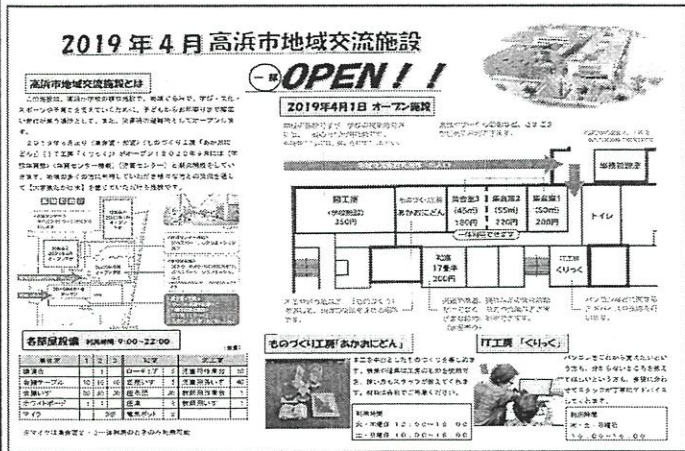
事業名等	生涯学習施設管理運営事業（地域交流施設運営業務委託）【新規】												
担当グループ	こども未来部文化スポーツグループ												
総合計画区分	基本目標	Ⅱ 学び合い 力を合わせて豊かな未来を育もう						個別目標	(3) 学び・文化・スポーツの輪を広げ、まちのチカラを育みます				
予算区分	会計	一般会計		款	10教育費		項	05社会教育費		目	02生涯学習機会提供費		
	事業名 03生涯学習施設管理運営事業												
アクションプラン	<input checked="" type="checkbox"/> 該当する <input type="checkbox"/> 該当しない												
事業概要	事業の必要性・実施の背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来の人口構造や財政見通しなどを踏まえ、「公共施設総合管理計画」に基づき、公共施設の最適配置を進める必要がある。</li> <li>・公共施設のあり方のモデルとなるよう、学校を核とした施設の複合化・集約化を進め、地域コミュニティの拠点を創出していく必要がある。</li> </ul>											
	目的（何のために）	公共施設のあり方のモデルとなるよう、学校を核とした施設の複合化・集約化を進め、子どもから高齢者まで多様な住民が集う「地域コミュニティの拠点」として、地域ぐるみでまなび・文化・スポーツや子育て・子育て等を支えていく環境を創出する。											
	対象（誰・何を対象に）	市民											
	事業内容（手段、手法など）	第1期施設（集会室・和室等）の供用開始および運営改善、第2期施設（メインアリーナ・サブアリーナ等）の供用開始に向けた各種準備 <ul style="list-style-type: none"> <li>・NPO法人たかはまスポーツクラブとの運営委託契約締結</li> <li>・市民を交えた地域交流施設の運営を考える会の開催</li> <li>・施設管理者、学校等との協議</li> <li>・例規等の制定</li> </ul> <div style="text-align: right;">など</div>											
目指す成果（期待される効果）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な市民が集う新たな交流・まなびの場を創出し、世代を超えた交流などを促進する。</li> <li>・複合化・集約化により、施設の維持管理コスト等の節減を図る。</li> </ul>												
目標設定（なるべく定量的な目標値を記入）	目標（何をどのようにする）										達成時期（いつまでに）		
	①第1期施設を供用開始する。 ②第2期施設供用開始に向け、運営方法案等について、市民を交えた検討を行う。										①平成31年4月 ②平成32年8月		
平成31年度	事業費（経費）			財源内訳（単位：千円）									
	5,343 千円			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			1,186	4,157	
事業費積算内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域交流施設運営業務委託料 5,343千円</li> </ul>												
平成31年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期			
事業実施スケジュール	<input type="checkbox"/> 委託契約締結→事業者運営												
	<input checked="" type="checkbox"/> 利用受付												
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業者と市民団体等を交えた協議												
	<div style="text-align: right;">議案上程（設置管理条例等の改正）</div>												
予算書及び予算説明書該当ページ	233ページ												



## これまでの主な取組と成果

事業年度	平成29年度 ~ 平成30年度	総事業費	235千円			
これまでの主な取組と成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種関係団体と必要な設備等について協議を重ね、供用開始のための準備をした。</li> <li>市民を交えた「地域交流施設の運営を考える会」を開催し、運営方法等について決定した。</li> <li>パンフレットやHP、内覧会、愛称募集などで周知した。</li> </ul>					
平成30年度(予算)	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民を交えた「地域交流施設の運営を考える会」を開催し、運営方法等について決定した。</li> <li>NPO法人たかはまスポーツクラブと準備業務委託契約を締結し、供用開始のための準備をした。</li> </ul>				
	事業費(経費)	235千円				
	財源内訳(単位:千円)	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	主な経費	(仮称)高浜市地域交流施設運営準備業務委託料 235千円				
平成29年度(決算)	取組内容	あおみが丘コミュニティ(株)や関係団体と施設の設備等について協議した。				
	事業費(経費)	0千円				
	財源内訳(単位:千円)	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	主な経費					

## 資料等(位置図等)




**2019年4月 高浜市地域交流施設**

高浜市地域交流施設とは  
2019年4月1日 オープン!!

高浜市地域交流施設とは、地域の交流、学び、文化、スポーツの場として、子どもから高齢者まで幅広く利用が期待されています。また、交流の場として活用が期待されています。

高浜市地域交流施設(仮称)の概要は以下の通りです。  
 敷地面積 約1,000㎡  
 延床面積 約1,000㎡  
 建築費 約1,000万円

高浜市地域交流施設(仮称)の概要は以下の通りです。  
 敷地面積 約1,000㎡  
 延床面積 約1,000㎡  
 建築費 約1,000万円



**施設概要**

- 敷地面積 約1,000㎡
- 延床面積 約1,000㎡
- 建築費 約1,000万円

**申請方法**

- 利用申請方法
- 申請窓口

**アクセスマップ**

高浜市地域交流施設

**高浜市地域交流施設**